

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2012年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により実施する。
2. 開閉会式は、競技服装で全員参加すること。
(開会式では一斉行進を行うので、バックストレートに各学校で部旗を持参の上集合すること。)
3. 招集は、雨天練習場で行う。
4. 招集時刻は下記による。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	20分前
フィールド	50分前	40分前

開始時刻がきたら、競技者係の指示に従い、ナンバーカード、腰ナンバーカード、スパイクシューズの点検を受けること。招集完了時刻にいない場合は棄権とみなす。

5. ナンバーカードは指定のもの(縦20cm 横24cm)を胸と背に競技終了まで完全についていること。
ナンバーカードのない者、ナンバーカードの不備な者の出場は認めない。(走高跳、棒高跳は片面でも可)
6. レーン並びに試技は、プログラム記載順に行う。
7. リレー競技については、オーダー用紙(予選のオーダー用紙は受付時、決勝のオーダー用紙は招集場で学校ごとに手渡す)をリレー招集完了1時間前までに招集場(競技者係)まで提出すること。決勝についても同様に招集完了1時間前までにオーダー用紙を提出すること。(変更があるなしに関係なく全チーム提出すること)
8. バーの上げ方は次のとおりである。()内は練習時の高さとする。

(走高跳は2ピットで実施)

男1年 走高 (1.50) 1.55 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.93 1.96 1.99 2.02
(1.80) アトは3cmずつ

男2.3年 走高 (1.50) 1.55 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.93 1.96 1.99 2.02
(1.80) アトは3cmずつ

女1年 走高 (1.20) 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 1.63 1.66 1.69 1.72
(1.50) アトは3cmずつ

女2.3年 走高 (1.20) 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 1.63 1.66 1.69 1.72
(1.50) アトは3cmずつ

男1.2.3年 棒高 (2.80) 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 3.80 3.90 4.00 4.10 4.20 4.30
(3.80) アトは10cmずつ

[女棒高1.2.3] 実力に応じて決定

走高跳の優勝決定の上げ下げは2cmとする。

棒高跳の // 5cmとする。

9. 跳躍・投てき種目において、競技運営上やむを得ない場合は、計測ラインを設けることがある。
10. 男子1年3000m、男子3年3000mSCは13分、女子3年3000mは13分30秒、男子3年5000mは19分、女子5000mWは40分、男子5000mWは40分の制限タイム付レースとする。
11. 1年男女400m、女子100mH、1年男110mJH、2年男110mH並びにすべてのリレー種目の予選はタイムレースとする。（上位8位により決勝を行う）また、1年男子3000mはタイムレース決勝とする。
12. 円盤投、ハンマー投は補助競技場にて行う。競技中にウォーミングアップを行う場合、十分注意し、競技役員の指示に従うこと。
13. 女子棒高跳、女子ハンマー投はオープン種目（記録会方式）とする。
14. やりの検査は競技開始1時間前に北側器具庫前に持参し、検査を受けること。
15. スパイクのピンは9mm以下の平行ピンとする。（走高跳、やり投は12mm以内とする）
16. やり、ポール以外は、競技場のものを使用すること。
17. 各種目1～3位までは表彰を行うので、記録発表後5分以内に本部席に集合すること。また、必ず競技服装で集合し、出席できない場合は代理をたてること。
18. 顧問の先生の出席のない学校は出場を認めない。
19. 競技中における事故、負傷については各校で対応すること。なお、救急用品は本部に準備してあるので必要な場合は申し出ること。
20. 5月19日（土）が雨天等のため総合開会式が中止された場合、競技時間を30分繰り上げることとする。（午前6:00からのNHK総合TVニュース「天気予報（6:25頃放送）」において、京都府南部の午前中の降水確率が40%以上であれば中止とする。）

<その他>

1. 選手や競技役員以外の競技場への立ち入りや、フィールド内からの応援は禁止する。
また、メインスタンドからのトラック競技への応援も禁止する。
2. 本大会のみ競技場内での撮影を許可制で行う（フィールド内除く）。希望校は、一校2名以内で大会総務に申請すること。なお、撮影の際、事故を起こさないように十分気をつけること。万一、事故が発生した場合、主催者は一切責任を負わない。
3. 大会関係者以外は本部席前の通行を禁止する。（選手はメインスタンド裏側通路を使用すること）
4. 貴重品及び各学校の荷物については、各自または各学校で管理すること。
5. サブトラックでは、チューブ、メディシングボールの使用は禁止する。また、トラックのレーン上は競技場備え付けの用具以外の使用は禁止する。なお、公園内での練習用具の使用については公園内使用規定に準じる。
6. リレーにおけるユニフォームの上衣は同じものとする。